

会議等報告書

会議名	三朝町立小学校統合準備委員会 総務・通学部会（第2回）
日時・場所	平成27年6月17日（水）19:00～20:45 役場第4会議室
出席者	<p>保護者代表 岸田寿和（東小）、山本聡美（東小）、小椋秀一（西小）、藤原厚美（西小）、小谷和史（南小）、川北晴夫（南小）</p> <p>学校関係職員 蔵増校長（西小）、中島校長（南小）</p> <p>地域代表者 青木君夫（小鹿）、相見正二（三徳）、藤井博美（みささ村）、小椋伸夫（高勢）、牧田幸一郎（賀茂）、</p> <p>有識者 塩谷俊樹、松浦靖明校長、重信眞也前南小学校長</p> <p>教育委員 西田委員長、朝倉教育長、藤井委員、芦田委員、吉田委員（オブザーバー）</p> <p>事務局 小椋教育総務課長、山本主幹、田栗主事、畠中室長</p>
内容	小学校統合に係る校舎の位置・建築内容について

部会長	<p>智頭町の視察は大変参考になったと思う。第1回の総務・通学部会の意見をふまえて前進していけるように皆さんご意見をよろしく願います。</p> <p>資料について、事務局より説明をお願いする。</p>
事務局	<p>「小学校統合に係る校舎の位置・建築内容比較について」説明。</p> <p>国庫補助金について県に確認した。当初の想定と変更があった。案Bは国庫補助金が前回説明より5億円程度少なくなっており起債の部分が増えている。案Cも起債が増えている。訂正した上で話を進めていただければと思う。</p>
準備委員長	<p>今、修正があった話を含めてもう一つB案の西小改築の場合は財源プラス1億5,000万円の返還金が発生する。平成22年に耐震工事をしているにもかかわらず壊すということについては、議論を詰めていかなければならない。</p>
部員	<p>お金の話をここで議論してそのようになるのか、何を選んでと言っているのか。借金の返済まで私たちに求めるのか。</p>
準備委員長	<p>これからの人たちに借金を負わせても新築がいいのかどうかという話。</p>
部員	<p>この会に財政的な責任をどこまで負わせるのか。</p>
準備委員長	<p>ものを建てるならお金のことも考えなければならない。しっかり考えたうえで決めなければならない。</p>
事務局	<p>1ページ 「第1回総務通学部会での主な意見」について説明。</p>

部会長	意見交換をお願いします。
部員	集落ごとの子どもの数の調べはあるか。
部会長	次回、資料として出す。
準備委員長	皆さんがA案からC案についてどう考えられているか意見を願います。
部員	先日智頭に視察に行かれたが、将来を見越した中で、なぜあれだけのものを建てられたのか、話があれば教えていただきたい。
事務局	小学校の統合と中学校の校舎の建て替えが同じ時期になった。中学校は耐震がきかないので建て直すしかなかった。小学校は改修、中学校は建て替えとなった。
部員	今の西小を使う場合、校舎は足りるのか、足りないのか。
事務局	平成30年の児童数見込みでいくと、児童は入ることができる。
部員	今のままで収容は可能ということですね。人数がずいぶん減るので新築を考えるのであれば、中学校のことを含んだものでなければならぬ。 本格的に改築するのか、簡単な手直しであるのか。もう少し本格的なものは時間がかかる。小幅改修して今後のことをある程度リミットを設けて議論してというのものもある。
部員	金、教育の質、環境の問題、色々ある。行政として返済計画を立てることができるのか。そこが聞きたい。
事務局	町の自由に使える基金は、10億円程度ある。9億、10億の借金は町の財政で無理なのではないか。事務屋としてはそう思う。最終的には町長の判断しかない。
部員	振る袖があるかどうか。特別支援学級入級の子が増えてきて、特別支援学級は通常学級を半分で分けたり、少人数指導は図工室でやったりしている。多様な教育によってスペースが足らなくなっている。 改修を考えるなら増築が必要。
教育委員	三朝町は教育をこう位置付けるということであれば何とかなのではないか。
部員	通う子どもの保護者の立場になれば、この前の中学校のような学校に通わせたいと思う。中学校の改修はこの先考えておられるのか。
事務局	中学校は耐震工事をしている。10年から15年後には改修が必要と考えている。
部員	中学校の改修の時に小学校も一緒にと考えてもよいのでは。
部員	今の西小の現状を知っている。ランチルームを仕切って使っている。職員室も狭い。新築が良いと思うが(お金が)なければ別の手立てを考えないといけない。

部員	B案C案は難しいと出たが、個人的にはC案が良いと考える。冷暖房代も違うと思う。素晴らしい教育環境が三朝に帰れば待っているというのが良いのでは。
部員	子どもたちが通いたいと思う学校。多目的、少人数に対応できる校舎でなければならない。できる範囲内で最善を考えたら良い。
部員	学校は新しいのに越したことはない。しかし、校舎が新しいから良い学校というわけではない。財源のこととかある。3校一緒にと考えた時にどんな校舎でということをお話しておくべきだった。A、B、Cのうちから選べと言われても選ぶことができない。
部員	校舎について、南小の保護者に意見を聞いた。西小にそのまま入ると吸収されたイメージでいやだ。新しい校舎がいいという人が多い。
部員	小中一緒に考えるのがいいのではという意見があった。中学校もそのうち建て替えになると思う。体力のあるうちに無理をするというのも、もしかしたらあるのでは。数年後に新しい校舎もありなのでは。
部員	今のを使っても教育の現場としてやりづらいという意見があった。教育できる体制を作っていただいてと思う。どうせ建て替えが必要になるなら早いうちに手を打った方が良いのでは。
部員	このまへの智頭を見たら新築ありきかという感じがする。今のところ何年かやってそのうちに中学校のこともあわせながら考えてはどうかと思う。もう少しゆっくり検討すべきではないか。一番良いのは新築だが。
部員	もう少し現実味のある話を。(校舎に)入れるのなら入って考えてもよいのでは。通学の問題や跡地利用の問題を考えてと思う。
部員	基本的にはC案だが、30年合併は守ってほしい。今、(教室が)足りないならその分だけ増築でよい。
部員	町長、教育長のどうしたいという姿勢が見えていない。無理なものは出すな。お金をかけたくないなら増築されたら良い。
準備委員長	この会の中で新築が良いと出れば新築で出します。自分たちが動かしていかなければならない。
部員	現実問題としてこの資料を財政も見ているのではないか。精査しながら青写真を具体的に出して、しぼっていかなければならない。
部会長	財政的な部分以外は新築でという意見が多かった。その理由として多目的、少人数指導とか特別支援学級の教室が足りないからまた、子どもたちが通いたいと思える学校教育環境、長い目で見て新築が良いのではという意見が多かったと思うがどうでしょうか。
部員	名目統合するのか、入れるだけ入って足りないところを増築して、時間をかけてどうあるべきかというのを議論するべきではないか。 2か月で結論をとというのは誰が考えても無理ではないか。7月まで

	に結論を出すなら改修だ。
部員	名目統合にしたら校長は1人になり掛け持ちになる。名目統合はなかなか難しい。
部員	とりあえず入るスペースを確保して1年後をめどに結論を出す。時間が必要なのでは。
部員	名目統合は困る。どういう形であれ統合しなければならない。
準備委員長	30年完全統合を目指すというのは、異論はないですね。
部員	地域のニーズが出ているというのは住民が住所を移したりしているというのが発生しているからだ。
準備委員長	人数的にみて変わらないが、教室は足りないのですね。
部員	統合して教育の質が低下するという懸念がある。だからどうしても広げざるを得ないというのが現状。
事務局	担当課長としては、30年を達成したい。課題として、新しい所に新築は期間を考えると難しい。西小の改修または増築を含めた部分を敷地内での新しい校舎という以外はなかなか考えにくい。次の会には問題点を出してと考える。
部員	今いま必要な教室だけ増築してはどうか。
教育長	それも選択肢の一つということで。
教育委員	まず統合はする。新しい校舎に入るという方法もあるのではないか。それなら余裕を持って話すことができるのではないか。
部員	今の校舎の現状では困る。すごく不都合が生じる。2～3年議論しても議論は尽くせない。みんなが新築したい。
準備委員長	次の会にはここなら30年に新築できるという場所があれば出してほしい。問題点も出してほしい。この会はできれば新築が良いと皆さんの意見が出ている。
部員	30年に用地買収せずに新築の場合、西小学校、中学校、陸上競技場、テニスコートのあたりしかない。中学校の敷地なら三朝町の教育をどうするのかというのがほしい。
事務局	次回の総務・通学部会は、7月9日に開催する。
部会長	以上で終わる。